

最優秀に新美志織さん(工学)と木嶋真子さん(法政)

建築を学ぶ学生による実行委員会(工藤秀俊代表<日本大学>)主催の全国合同卒業設計展「卒、(そつてん)22」が、18~21日に東京都台東区の隅田公園リバーサイドギャラリーで開かれた。総合資格学院(岸隆司学院長)が特別協賛した。19、20日と審査員を変え行った講評会(総合

建築学生実行委

司会・西田司氏)で最優秀賞に、新美志織さん(工学院大学)の作品「都市を停める駐車場」(19、20日)、木嶋真子さん(法政大学)の作品「朱路が刻む記憶―黒谷における手仕事と風景の再考―」(20日)が選ばれた。

同展は学生有志が実行委員会を立ち上げ企画・運営している。本年度は19年目。今回のコンセプトは「出発、」。卒業設計は学生生

総合資格学院が特別協賛 全国合同卒業設計展



各賞受賞者と審査員(20日講評会)

活の終わりとともに、新しい生活の始まりを意味していると解釈。出展者にとって新たな生活への良い出発点となるよう願いを込めた。最優秀賞以外の各賞の受賞者・作品は次の通り(敬称略)。

- 【1日目(19日)】
 - 〈優秀賞〉谷底に溜まる(松浦開(東京理科大学))
 - ▽しあわせ運べるように(日本列島における新しい病院船の在り方―古川隼也(武蔵野美術大学))
 - 〈審査員賞〉
 - 「石川初賞」蜜峰送線線―及川武(国土館大学)
 - ▽「須崎文代賞」空間の音色を聴き比べるように(幸地良篤(東京理科大学))
 - ▽「富永美保賞」灰白のレシピア(雪国住宅における機能的風除室からの脱却―富士若葉(法政大学))
 - ▽「森田久美子賞」80才の公民館―小さな風景からつくられる公共(京理科大学)
 - ▽「平賀達也賞」推し増す都市―アイドルファンによる推せる居場所のつくり方―近藤乃香(芝浦工業大学)
 - 〈総合資格賞〉地に生きる人と土木の接点の拡張に関する計画―樋口貴大(滋賀県立大学)
 - 【2日目(20日)】
 - 〈優秀賞〉織都、綺羅を飾る―機屋ネットワークの醸成と半消費体験の表象―鈴木秀太郎(法政大学)
 - 〈審査員賞〉
 - 「川島範久賞」蜜峰送線線―及川武(国土館大学)
 - ▽「櫻村実賞」地に生きる人と土木の接点の拡張に関する計画―樋口貴大(滋賀県立大学)
 - ▽「酒匂克之賞」灰白のレシピア―雪国住宅における機能的風除室からの脱却―富士若葉(法政大学)
 - ▽「多田脩二賞」しあわせ運べるように―日本列島における新しい病院船の在り方―古川隼也(武蔵野美術大学)
 - ▽「手塚由比賞」私小説『家』―オノマトペを設計手法とした空間化の提案―飯田夢(法政大学)
 - 〈総合資格賞〉黒衣を脱ぐ―現代の繊維産業衰退における、公共性を持った産業建築の在り方―朝田岳久(工学院大学)
 - 【2日間(19、20日)】
 - 〈学生賞〉地に生きる人と土木の接点の拡張に関する計画―樋口貴大(滋賀県立大学)